

## 2024 年度 第 1 回 教育課程編成委員会 議事録

日 時：2024 年 7 月 25 日（木）15：00～16：30

会 場：岩国 Y M C A 保健看護専門学校 1 階会議室

参加者：浜 佳恵 様 岩国市医療センター医師会病院 看護部長

安田 真弓 様 岩国市健康医療部 健康推進課 健康づくり班

江見 享子 様 岩国 Y M C A 保健看護専門学校 校長

西濱 正俊 様 岩国 Y M C A 保健看護専門学校 事務長

藤中 優子 様 岩国 Y M C A 保健看護専門学校 保健看護学科長

矢野 結花 様 岩国 Y M C A 保健看護専門学校 看護学科長

### 議事内容

#### 1. 報告および審議事項

##### 1) 2024 年度学生状況について

今年度は保健看護学科 29 名、看護学科 14 名が入学した。定員は保健看護学科が 40 名、看護学科が 25 名だが、両学科とも 11 名マイナスと定員を割っている状況である。要因としては、18 歳人口の減少、大学進学志向の強さ、周南公立大学看護学部の開設等が考えられる。

看護学科は柳井准看護学院の閉校や、高校の衛生看護科や准看護学校の生徒数も減っており、募集を取り巻く環境が非常に厳しい状況である。現在、募集が厳しい状況だが、WEB を活用した広報活動の展開や、高校訪問の数を増やす等 1 名でも多くオープンキャンパスに来ていただければように営業・広報活動をしている。

##### 2) 2024 年度学校運営目標について

主な報告内容は別紙資料参照

- ・保健看護学科は 1～3 年生、看護学科は全学年が新カリキュラムとなっている。ディプロマポリシーに基づき、教員自身が共通認識を持ち、教育をしていかなければならない。
- ・今年度入学した学生は 18・19 歳が多く、社会人入学は少ない。個別性に合った指導を行っていく。
- ・保護者会を 4、5 月で実施している。コロナ禍では来校が難しいこともあったが、昨年対面から対面で保護者会を実施できている。
- ・学生が理解を深められる講義を行うよう取り組む。教員全員が年に 1 回は研究授業を行い、評価、振り返りを行うとしているが、昨年度は保健看護学科 5 名、看護学科 2 名の実施という状況なので、今年度は全教員が実施することを目標としている。
- ・教育に関連した外部研修に参加した際は、研修の内容を他の教員にも伝達するようにしている。
- ・昨年度の国家試験の合格率は保健看護学科の看護師が 93.8%、保健師が 84.4%、看護

学科は 100%だった。

- ・昨年度卒業生で保健看護学科が 4 名、看護学科が 3 名、岩国市内の医療機関に就職しており、全体の 14%となる。今年度も岩国市を中心に山口県内の就職が増えるよう努めている。

<質疑応答>

委員：岩国市内に就職した卒業生は市内の病院に就職したのか。

学校：岩国市内の医療機関に就職している。

委員：経済的な負担を減らすために、岩国市の奨学金もあると思うが、申込みの状況はどうか。

学校：岩国市の奨学金は昨年から奨学金を受けることができており、卒業後に岩国市に在住して岩国市内で働くことが条件となっている。昨年はまだ始まったばかりで、申込みは少なかった。また、国からの原資となる奨学金との併用ができず、日本学生支援機構等との奨学金との併用ができないという制約もある。昨年は定員枠を活用できなかったが、今年度は定員枠いっぱいまで活用させていただいている。

3) 2024 年度学科目標について

主な報告内容は別紙資料参照

【保健看護学科】

- ・新カリキュラムが 3 年目になり、新カリキュラムで初めて作った科目が 6 科目ある。横断領域の科目については、成人・母性・小児・在宅など、科目を超えて 1 つにまとめたものになる。3 年生で臨床判断の実践や、問題解決思考演習など、多くの時間を要する科目が今年度初めてであった為、教員間での連携を図り運用することを目標に掲げている。
- ・学科内の教員でカリキュラム編成委員会を持ち、定期的に開催をして情報共有を行っていく。
- ・保護者会は 1 年生が 4 月に、2～4 年生は 5 月 12 日（日）に実施した。例年土曜日に実施していたが、今年度は日曜日に開催をした為か、出席率が良かった。

<質疑応答>

委員：ICT の活用とあるが、今何か取り組んでいることがあるか。

学校：コロナ禍ではオンライン授業を行っていたが、対面での授業の方が効果的だと考えている。できる限り学校にあるシミュレーターや模擬電子カルテを使用した授業を行うようにしている。

学校：1 年生の時に情報科学という講義があるが、今までは Word、Excel、PowerPoint の基本的な操作ができるようになることを目的にしていた。しかしインターネットネット上に情報が溢れており、正しい情報を見極めることが重要になるので、今年度は 15 コマ中 5 コマを情報リテラシーについての内容で講義をした。

委員：今年入学した保健看護学科 29 名、看護学科 14 名は岩国市出身が多いのか。

学校：例年と同じ傾向にある。岩国から来ていただきたいが、18 歳人口の減少も感じて

いる。岩国市内に看護学校は 2 校しかないが、今まで志望があった高校も、他校が指定校推薦の枠数を増やしたことで、そちらに流れている実感はある。また、岩国の高校生は広島の大学に進学する傾向がある。周南公立大学の看護学部設立の影響は大きく、周南市近辺の高校からの志望は減少した。

委員：本院に就職していただいている方は廿日市市からも来ていただいている。そのような方もいるのか。

学校：広島県の西部からの進学はある。岩国が良いところだと思って就職してくれたら良いのではと考えている。

委員：教員の年間の個人目標の立案・実践については課題に沿って作成しているのか。

学校：日本看護学校協議会が教員のラダーを作成しており、それを基に勤務年数によって各教員が毎年具体策まで立てるようにしている。

委員：教員の不足があるが採用が難しいか。

学校：どこの看護学校で話を聞いても教員不足の現状がある。

委員：先生は今のくらいいらっしゃるのか。

学校：教員の数は法律で決まっており、保健看護学科は 14 名、看護学科は 7 名は必ず在籍していないといけない。教員になるための要件もあり、臨床経験が 5 年以上ないといけないなど、要件が厳しい中、人材を探しているところである。

#### 【看護学科】

- ・学生の個別性を考えた指導では、わからない所を把握して、分析してできる指導を心がけている。
- ・保護者との連携が必要な時には必ず学生にあらかじめ話をしてから保護者の方に連絡をするよう教員にお願いをしている。
- ・新入生 14 名の内、12 名が柳井学園高等学校出身者となる。平均年齢も下がり、若い学年となっている。
- ・研究授業や外部研修については昨年は実施できていない。研究授業については今年度初めて行う授業から導入できればと考えている。
- ・コロナ禍でオンライン授業を行っていたのでパソコンを購入してもらっている。まだ実践できていないが、パソコンを活用した課題やレポートの提出に取り組んでいく予定である。Googleclassroom を使用すると小テストができ、結果もすぐにわかるので現在活用している。
- ・専門実践教育訓練給付金があり、国家試験は全国平均の合格率以上の取得率でなければならない。人数も少ない為、大切に育てながら全員が合格できるように取り組んでいく。

#### 4) カリキュラム進行状況

保健看護学科は、シラバスやジェノグラムを使用した成人期、老年期の看護過程の展開について説明を行った。看護学科は臨床判断Ⅰの科目の学習目的・目標・内容について作成した患者の事例を基に説明を行った。

<質疑応答・自由意見>

委員：ジェノグラムの活用は実際にイメージできそうで良いと思う。家に帰れば、そこには生活があって、家族がいて、1人ではないというところが見えてくるので役に立つと思う。

5) 2023 年度学生満足度調査について

主な報告内容は別紙資料参照

<質疑応答>

委員：購入したテキストを使わなかったと意見があるが実際にどうなのか。

学校：非常勤講師の科目になるが、事前にシラバスを確認してもらい、購入をしたが、実際に使っていなかったことが判明した。学校の教員であれば、タイムリーに気づき、使用すると言えるが、非常勤講師だったことで気づけなかった。後期の授業なので、今年は改善できるようにしていきたい。

学校：単位についてもう少し詳しく説明して欲しいという意見があり、1年生からの要望だった。入学時のガイダンスだけでは理解できなかったのだと思う。後期に入った時にもう一度説明をして予定。

6) その他・自由意見

委員：カリキュラムを見ると大変だと思う。求めるものがとても高いように思う。

学校：現場で求められているものがカリキュラムに反映されている。やっている自分たちだけでは見えていない部分が多くあると思うので、皆様から様々なご意見がいただけたら大変ありがたく思う。

以上

記録：西濱 正俊

## 2024 年度 第 2 回 教育課程編成委員会 議事録

日 時：2025 年 2 月 20 日（木）15：00～16：30

会 場：岩国 Y M C A 保健看護専門学校 1 階会議室

参加者：浜 佳恵 様 岩国市医療センター医師会病院 看護部長

矢野 匡亮 様 社会福祉法人 光葉会 理事

木谷 秀規 様 明治安田生命保険相互会社 徳山支社 岩国営業所 営業所長

江見 享子 様 岩国 Y M C A 保健看護専門学校 校長

西濱 正俊 様 岩国 Y M C A 保健看護専門学校 事務長

藤中 優子 様 岩国 Y M C A 保健看護専門学校 保健看護学科長

矢野 結花 様 岩国 Y M C A 保健看護専門学校 看護学科長

欠席：安田 真弓 様 岩国市健康医療部 健康推進課 健康づくり班

### 議事内容

#### 1. 報告および審議事項

##### 1) 2024 年度教育課程編成委員会の新委員紹介

社会福祉法人光葉会理事の矢野匡亮様、明治安田生命保険相互会社徳山支社岩国営業所営業所長の木谷秀規様が新たに委員に加わっていただいた。

##### 2) 看護基礎教育制度、教育課程について

スライドと資料をもとに保健看護学科の統合カリキュラムや看護学科 2 年課程（全日制）等について説明を行った。主な報告内容は資料参照。

#### <質疑応答>

委員：岩国市看護学生修学資金貸付制度を利用して岩国市内で就業した生徒はどのくらいいるのか。

学校：昨年始まった奨学金制度である為、保健看護学科はまだ利用をして卒業した生徒がまだいない。看護学科は 2 年生は利用をしていない為、本校ではまだ誰も卒業していない状況である。奨学金に関わらず、地域貢献として岩国市への就職を勧めている。年によって違うが、広島から本校に入学をして岩国に就職する学生は 2～30%程度。岩国在住の学生は県外へ就職していく傾向にある。

委員：岩国市看護学生修学資金貸付制度は在学中から岩国に住まないといけないのか。

学校：卒業後、岩国市に住み、就職をすれば問題ない。就職について強制はできないが、いかに岩国に愛着を持っていただけるか新カリキュラムで取り組んでいる。

委員：岩国市に就職する人が減ってきているということか。広島にも YMCA はあるのか。

学校：岩国だけでなく、山口県全体をみても看護職の確保は課題となっている。広島 YMCA 専門学校はホテルや留学生の日本語学校で、全国の YMCA の中でも看護

系の学校は本校しかない。学校には様々な地域から奨学金の案内が届くが、今はどこも同じ課題を抱えていることが考えられる。

委員：国家試験の合格率はどのくらいか。

学校：保健看護学科の保健師合格率は全国平均を割っているが、看護師は全国平均並みである。この数年 100%合格はできていない。学科として 100%合格を目指しているが、なかなか厳しい。看護学科は昨年 100%合格できたが、今年は結果が出てみないとわからない。学生が看護師になりたいと強く思って学習してほしいと思っている。

### 3) 学生状況

詳細は資料参照。

#### <質疑応答>

委員：アンケートの回答に満足、概ね満足、やや不満足、不満足とあるが、意見を書く欄を設けているのか。

学校：アンケートの最後に要望を書くところがある。

委員：先生によって資料が見つらいと記載があるが、テキスト以外に資料を作られているのか。

学校：教え方は各担当教員、非常勤講師に任せているため、資料を作成する講師もいる。

委員：授業で使用しなかった教材があるということだが、購入させられたということか。

学校：非常勤講師の授業で、必要だと思ってテキストを購入をしてもらっていたが、講義後使用していないことがわかった。この講義についてはテキスト購入を中止した。

委員：スケジュールの変更が変わると書かれているが、コロナやインフルエンザの影響があるのか。

学校：そういった理由がほとんどで、担当教員の都合が悪くなることや、教員の体調が悪くなってということで変更になっている。

委員：1 コマ 90 分の授業なのか。単純に受ける授業の時間が全部で 3840 時間ということか。

学校：1 コマは 90 分となる。1 単位 30 時間と 15 時間の講義で、実習は 45 時間のものもある。これらを全て合わせて 3840 時間となる。

委員：助産師の学校に進学する卒業生はどのくらいいるのか。

学校：年に 1 人いるかどうかくらいである。主に九州に進学する卒業生が多い。助産師になるには実習で分娩を 10 件必ず取り上げないといけない。そのような理由から助産師要請では実習施設の確保が困難となっている。

委員：岩国市は産婦人科が閉院、さらに減ってくると聞いている。助産師の育成をどうするかと考えていたが、現実的でないことがわかった。

例えば、岡山の国立系の学校の定員が 20 名程度である。病院併設なので、自施設で対応していると思っていたが、実際にはたくさんの実習先に行っているようだった。

#### 4) カリキュラム進行状況

詳細は資料参照。

保健看護学科では地域と暮らし、成人・老年看護学実習Ⅲについてと、看護学科は地域・在宅看護方法論Ⅰについて状況を報告した。

#### 5) その他

委員：競合校も多く、大変だと思うが生徒を集めて育てて、頑張ってもらいたい。

委員：机上での学びと実習でどのくらいの割合なのか。

学校：保健看護学科、看護学科ともに 1/3 程度が実習となる。どの学校も実習施設の確保がどこも大きな問題となっている。病院が受けていただけるか、受けていただいたら県に申請をして許可が出ないと実施できない。どこも母性と小児の実習先に苦慮している。

委員：学校として、いろいろと工夫されていると感じた。病院でも地域を見るように言っているが、地域で暮らしている患者さんが治療を受けてまた地域に戻るという視点が、実際の現場では難しい現状もある。

次回 6・7 月頃に 2025 年度の第 1 回教育課程編成委員会を開催予定。

以上

記録：西濱 正俊